

## 平成28年度第1回愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議の開催結果

- 1 会議の名称 平成28年度第1回愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 平成28年8月22日（月曜日） 午後6時30分から午後8時15分まで
- 3 開催場所 南予地方局 7階 第1会議室
- 4 出席者 委員19名、随行者12名、事務局6名 計37名
- 5 議 題
  - (1) 平成29年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について
  - (2) 病床機能報告制度の結果及び愛媛県の在宅医療の現状
  - (3) 救急医療分科会について
  - (4) その他
- 6 内 容（全部公開）
  - (1) 平成29年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業として、管内医師会等から要望のあった7事業の内容について協議し、優先順位付けした。
  - (2) 平成27年度の病床機能報告制度の結果及び在宅医療にかかる地域別データ集より、宇和島構想区域の現状等について説明するとともに、意見交換した。
  - (3) 救急医療分科会を設置する必要性等について説明し、調整会議設置要綱第5条第3項に基づき、ワーキンググループとすることが了承された。
  - (4) 主な意見等
    - 質問① 介護老人保健施設と在宅療養者をテレビ電話の専用回線で結ぶという事業であるが、スマートフォンのテレビ電話を利用してもよいのではないかと。
    - (回答) 在宅療養者は高齢であるため、ワンタッチで操作ができるシステムが必要である。
    - 質問② テレビ電話の利用料が必要であるが、在宅療養者が負担するのか。
    - (回答) 当面は、在宅療養者の負担がない方向で検討している。
    - 質問③ 病床機能報告制度の病床数と地域医療構想の必要病床数は、整合性をとらないといけないのか。
    - (回答) 地域医療構想の必要病床数は、2025年の推計値であり、病床機能報告制度では看護体制等から病床機能に反映できないこともあるので、将来必ず整合性をとるものではなく、また病床を減らさなければならないということでもない。
    - 質問④ 市立宇和島病院の医師が疲弊しているのは、八幡浜・西予地域や高知県等の構想区域外から救急搬送されていることが原因の一つであり、救急医療の適正受診等に関する広域的な広報が必要ではないのか。
    - (回答) 市立宇和島病院は、南予救命救急センターとして3次救急の機能があるので、広域から搬送されることは必然であり、問題はウォークインによる軽症者に対する適正受診の啓発である。
    - (意見) 市町としては、地域住民に対して、かかりつけ医を持つことや適正受診について啓発していく必要がある。

宇和島保健所  
企画課 医療対策係  
TEL : 0895-28-6105  
FAX : 0895-24-6806